

研究課題名	MRI拡散強調画像の定量的評価による低分化肝細胞癌の検出能 —多施設共同後ろ向き研究
研究機関名	東京医科歯科大学医学部附属病院、武蔵野赤十字病院、青梅市立総合病院、お茶の水駿河台クリニック、AIC八重洲クリニック、メディカルスキャニングお茶の水
研究責任者	所属 放射線科 氏名 姫野 佐郎
研究期間	武蔵野赤十字を含む協力施設および東京医科歯科大学の倫理審査委員会承認後 ～ 平成31年3月
研究の意義・目的	肝細胞癌 (hepatocellular carcinoma:HCC)はその分化度により予後が異なる。画像診断による分化度の推定は、治療方針の決定に重要である。画像所見からの判定(定性的評価)に加え、計測による判定(定量的評価)があれば、より有用性が高い。MRIの拡散強調画像(DWI)はその信号強度が、悪性腫瘍の分化度を反映することが知られている。DWIの定量的指数には見かけの拡散係数(apparent diffusion coefficient:ADC)、周囲肝実質とのコントラスト比(relative contrast ratio:RCR)、コントラストノイズ比(contrast noise ratio:CNR)がある。我々のグループは、RCRやCNRがADCより分化度推定に有用であることを示した。しかし単一施設の研究で、多施設での再現性は不明である。本研究の目的は、多施設のDWIの定量的指標で、低分化型HCCの検出能を評価することである。
研究の方法 (対象期間含む)	2010年1月から2018年12月の間に、東京医科歯科大学医学部附属病院で手術を施行されたHCC症例のうち、術前に同病院または上記の他施設で、DWIが撮像された症例を対象とする。DWIの画質が不良な症例、病変の長径が1.5cm未満の症例、検査時に治療後であった症例は除外する。同病院の放射線科医が選択基準に合致し、除外基準に抵触しない症例のリストを作成し、それらの患者のMRI画像のデータを、同病院の放射線科で匿名化した上でダウンロードし、東京医科歯科大学M&Dタワー放射線科研究室のパソコン(Mac)に保存する。このパソコンで使用できる画像解析ソフト(Osiris Imaging software)を用いて、DWIの信号値の測定を行う。測定値からADC、RCR、CNRを算出し、低分化型HCCの検出能について、統計学的に比較検討を行う。
個人情報の取扱い (匿名化する場合はその方法を含む)	研究者は、研究等の実施に係わる文書(申請書類の控え、病院長からの通知文書、各種申請書・報告書の控、症例報告書等の控、その他データの信頼性を保証するのに必要な書類または記録等)を、東京医科歯科大学の所属部署の鍵のかかるロッカーに、規定に基づき10年間保存する。上記書類はシュレッダーによる裁断を行い廃棄する。コンピューター上に保管されている場合は、保存媒体を破砕してから廃棄するか当該データを確実に消去する。その他媒体に関しては、個人情報漏洩することのないように十分注意し、適切な方法で廃棄する。
問合せ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 放射線科 氏名 姫野 佐郎  TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525